

「特別寄付」へのご協力をお願い

一より良い教育環境の実現のために

皆様からの多大なるご支援ご協力のもと、体育館床の改修を無事に終えることができました。心より御礼申し上げます。この後も引き続き音響設備の改良を予定しております。限られた予算の中、子どもたちのより良い教育環境を実現するため、会員の皆様に「特別寄付」のお願いです。国立大学法人を通した竹早中学校への「特別寄付」は、所得税制上、寄付金控除の対象となり、東京学芸大学から寄付金領収書が発行されます。

寄付金は通年受付していますが、大学への手続きの都合上、令和4年用の寄付金領収書の発行は、**令和4年1月1日から9月30日振込分まで**となっております。何卒ご了承ください。

中学校への支援に感謝



前副校長
勝岡 幸雄

先日、本校体育館の床整備が終了しました。創立75周年記念事業の一環として、教育後援会「創竹会」(以下、創竹会)のご尽力により進めていただくことができた事業です。ところで、創竹会の総会資料を調べてみると、平成28年度より「寄付」制度が確立され、令和元年からは「特別寄付」が新たに設定され、本校の支援内容が拡充されました。本校への経済的支援には、教育活動(教育基盤)への支援と施設・設備(教育環境)への支援があります。平成28年度の寄付制度確立により、前者を充実させ、更に後者の更新に対応していただくことができました。実績を挙げれば、10倍速くなったインターネットLANの構築や今回の体育館整備です。

最後になりますが、こうした拡充は、ひとえに創竹会正会員・賛助会員並びにPTA、同窓会の皆様の多大な支援あってこそと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

母校『竹早中学校』を支えよう

一口10,000円です。一口以上、複数口お願いできますと幸いです。振込取扱票に下記内容を明記の上、お振込みをお願いします。振込手数料は各自ご負担願います。

口座番号: ゆうちょ銀行 00180-9-392665
加入者名: 創竹会
通信欄: 在籍期と生徒氏名(〇〇期 竹早太郎)
または卒業生氏名
ご依頼人: 領収書に記載する方の住所、氏名

皆様からの会費・寄付金は、子どもたちのより良い教育環境実現のための貴重な財源です。引き続きのご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

一口10,000円です。
ご協力よろしくお願いします。



2004年度に国立大学が法人化されて以後、国からの運営費交付金は毎年1%ずつ削減され、不足分は外部の研究費や寄付金で独自に補っています。大学からの予算は限られていて、財政的に大変厳しい状況が続いております。

創竹会とは?

創竹会は正会員(在校生の保護者)と賛助会員(正会員資格を有しないもので本会の趣旨に賛同する個人・法人・団体)から構成されている教育後援会です。会員の皆様からいただいた会費・寄付金はさまざまところで生徒たちのために役立てられています。

会費やご寄付等は、
このように使われています(一例)



編集後記

今号では、皆様方にご協力いただいた特別寄付等を基に改修された体育館について特集を組みました。

コロナ禍で制約の多い生活ですが、改修され快適な使い心地になった体育館での授業や行事・部活動は、それぞれの活動を通して子どもたちの豊かな学校生活に繋がっています。

教育環境設備向上のため、今後も創竹会は全力で取り組んでまいります。

創竹会だより

No.21

令和3年12月1日発行

20周年を迎えて



創竹会会長
古谷 順史郎

会員の皆様には、平素より教育後援会「創竹会」の活動にご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が確認されて2年、ワクチン接種をはじめその他のコロナウイルス対策も当たり前のものとなりました。そのため、まだまだ制約の多い学校生活です。それでも先生方のご指導や保護者のご協力のもと、子どもたちは勉強に部活動にと何事にも一生懸命取り組んでいます。

さて、創竹会は2001年1月20日に設立され、ちょうど今年が20周年です。昨年度は、これまでの皆様のご寄付から、子どもたちの生活や健康を守るために空調設備品などを

更新いたしました。

国立大学法人からの予算は年々激減し、創竹会設立時の930万円から現在では280万円になっております。当初創竹会は、必要最低限の学校運営を支えるための組織でしたが、皆様からの長年にわたるご支援ご協力により、ここ数年で存在と役割が大きく変化しました。

繰越金によって年間の予算が増えたことにより、これまでは学校生活を行うためのギリギリの支援しかできませんでしたが、今では洗練された教育環境で中学3年間を過ごすことができるよう整ってきています。

校内高速無線LANの設置によって最先端のICT教育環境が実現し、今後がますます楽しみなものになっております。衛生面では、消毒用アルコールを常設し、1階に高性能体温センサーを設置いたしました。75周年事業の一環として、損傷が目立った体育館の床材を張り替え、より安全な環境を整えました。

このようにさまざまなことが実現できましたのも、多くの方々の継続的なご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

体育館の床改修とICT環境の改善



学校長
藤本 光一郎

日頃の本校へのご協力とご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

初めに、本校創立75周年事業の柱でもある体育館の床改修工事が夏に完了いたしましたことを報告させていただきます。体育の授業や部活動などに使い始めております。弾力性のある素材で、足腰への負担も軽くなり、ダッシュやストップの際のふんばりが効くなど、好評のようです。競技によって異なるラインの視認性もよくなり、見栄えもよくなりました。皆様の貴重なご寄付により、大きな工事を行うことができました。古谷会長はじめ、この事業の企画段階から関わってくださった多くの皆様に心より感謝いたします。この体育館で、子どもたちが思う存分、体を動かしたり、音楽を奏でたりすることができる日が早く来て欲しいと思います。

また、昨年から大学や企業と連携して行っている「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」により、高速ネットワークや複数のスクリーンを備えた通称「すごい教室」の整備が進んでいます。さらに、視認性のよい大画面モニターが複数台供与されました。いずれもプロジェクトに参加されている企業からご提供いただいております。これらを使って、竹早らしい学習や活動をどのように展開できるか、私たちがわくわくしております。

新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着きを見せているとはいえ、予断を許さぬ状況が続いており、今年度も、校外学習は各学年で代替行事を実施、運動会や文化発表会も規模を縮小して実施いたします。部活動や委員会活動なども慎重に行っております。子どもたちにいかに豊かな学びや学校生活を経験できる場を提供できるかが重要になっています。引き続き、創竹会の皆様からの温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

～創立75周年記念事業～ 体育館の床の改修が完工しました!

竹早中学校の体育館は2011年の東日本大震災で被災し、これまでに天井の補修・照明のLED化・スピーカーの購入など順次改修を行ってきました。今年度は創立75周年記念事業の一環として、夏休みに床材の張替え工事を行い完成しました。



木材からオリンピック仕様の **タラフレックス** へ

タラフレックスとは?

- ★オリンピック会場や世界中のスポーツ施設で採用されている素材。
- ★いくつもの層で衝撃を吸収し、最適なグリップ力で動作をしっかりと支えることができる。
- ★スライディングや転倒時に上昇する表面温度を木材に比べて約25%抑制し、摩擦やけなどを最大限防止。
- ★水分に強く水拭きが可能で、耐摩耗性に優れているため、日常メンテナンスが簡単になる。



クッション性が高くなって滑りにくく、運動がしやすくなりました。ボールをついた感触もいいです。膝にも優しいと思います。
(体育担当: 横山先生)

～子どもたちの声～

★前は走ると「ドンドン」「キュッキュ」とうさかったが、静かになった。
★柔らかくて足に優しい気がする。
★転んでも痛くなさそう。新しくなって線も見やすくてうれしい!



令和3年度 創竹会総会報告

議 事

- ・令和2年度 事業報告、同決算報告、および同監査報告
- ・令和3年度 創竹会役員選出
- ・令和3年度 事業計画案、同予算案

令和3年7月13日(火)第21回創竹会総会が第一会議室と併せてオンラインでもライブ配信され、活発な質疑応答が行われました。全議案とも滞りなく可決承認されたことをご報告申し上げます。



令和3年度 役員

会 長	古谷 順史郎	荒井 真美代
副会長	宇川 燿平	遠藤 佳代子
	武居 哲洋	五島 美子
	飯部 徹郎	雲 美子
	竹新 敬	石黒 早苗
	高島 裕	濱 智恵
		石井 久子
		中山 直美
		小山 亨子
		橋本 淑恵
		岡崎 美弥子
		部 美樹子
		外山 文子
		系井 さおり
		久保 朋美
		青山 朋子
		小川 聖子
監 事	加藤 智厚	
	神沼 厚史	

フェイスシールドが新しくなりました!

映り込みや視界不良があったため、医療用の高品質レンズを購入しました。

長時間つけても
疲れにくい

友達の表情が
よく分かる

視界が良く
クリア!

軽くて耳が
痛くならない

黒板が
見やすい

材質が柔らかく
傷つきにくい

頭痛が
無くなった

新しく購入しました!



オートアルコールディスペンサー



高性能体温センサー



新生と再生



副校長
森 顕子

会員の皆様、常日頃より、コロナ禍中においてはさらに一層、竹早中学校に多大なるご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。教員も子どもたちも、10月はじめまでは、マスクにフェイスシールドを終日常備し、9月は昼食のリスクを避けるために短縮45分の午前中授業にしておりました。10月から午後も授業を行うようになり感染拡大が落ち着きを見せてきたところで、ようやく50分授業に戻し、短いながらも部活動を1時間程度実施しています。校外学習は学年の代替行事として、1年生はドッジボール大会、2年生は車椅子バスケットボールの体験、3年生はシンガーソングライターのライブ演奏を放送室から配信したり、体験を含めた能楽鑑賞で和の文化に浸ったりと、学年ごとに工夫して実施されました。子どもたちは、満足に集まることもできない日々を経て、これからまた一歩一歩、集団を率いていくこと、集団の中での役割の遂行を学んでいくことになります。新生と再生を併せた未来の学校として進み続けたいと思います。今後ともお支えくださいますよう、お願い申し上げます。

書籍販売



子どもが輝く
— 幼小中連携の教育が
教えてくれたこと —

竹早地区において、これまで歩んできた幼小中連携研究の歴史を中心に、日々の授業・活動・保育の様子やその日々を支える研究活動をまとめた本です。

平成30年9月に出版以来好評につき、限定割引価格2,000円(税込み)にて販売いたします。

※書籍販売の収益は生徒たちの教育活動のため役立ててまいります。
※ご購入をご希望の方は学校までお問い合わせください。
(takechu@u-gakugei.ac.jp)